



匝瑳市立吉田小学校 このてかしわ

〈学校だより〉 No.10 令和4年2月28日



校庭に咲いた梅の花

人権教室



2月2日(水)、3年生と4年生を対象に、人権擁護委員の●●●●●さん、●●●●●さんの授業を通じて、3年生が「いじめ」、4年生が「あだな」について考えました。

4年生の授業では、自分の名前の由来について考える場面がありました。親からの手紙に記された自分の名に対する想いや願いを知り、子どもたちの満足そうな笑顔が印象的でした。



1年生の●●●●●さんが描いた絵が、地域文集「さふさ」に掲載されました。題名は「ねこのミミちゃん」です。

図画工作の時間に「やぶいた かたちからうまれたよ」の単元で、広告の用紙等を活用して切り貼りしました。耳が良く聞こえる猫なので、ミミちゃんと名付けたそうです。

1年生 ●●●●●さん作品

読書賞



●●●●●さん

2年生の●●●●●さんと6年生の●●●●●さんが本を100冊読破し、百冊賞を受賞しました。これで14人目の受賞となります。

また、2年生の●●●●●さんが二百冊賞を受賞しました。5人目の受賞です。



●●●●●さん



今月で91%の児童が読書賞を受賞しました。低学年の児童は全員が百冊賞を受賞しました。

文部科学省はホームページで「読書は、人類が獲得した文化である。」と掲げるとともに、「情報化社会の進展は、自分でものを考えずに断片的な情報を受け取るだけの受け身の姿勢を人々にもたらしやすい。自分でものを考える必要があるからこそ、読書が一層必要になる。」と読書の重要性を指摘しています。

読書は心を養う糧でもあります。子どもたちには多くの良書に親しんでほしいです。



校長室より

17日間にわたった北京冬季五輪が閉幕して、約1週間が過ぎました。日本勢の活躍が光った一方、思うような結果を出せず涙をのんだアスリートも少なくありませんでした。

特に、フィギュアスケート男子の羽生結弦さんは、けがを抱えながら、フリーで前代未聞のクワッドアクセル（4回転半ジャンプ）にチャレンジし、転倒したものの記録として認定されました。スノーボード女子ビッグエア決勝では岩渕麗楽さんがトリプルアンダーフリップ（斜め軸の後方3回宙返り技）の高難度の大技を繰り出し、失敗に終わりましたが、周囲から多くの賞賛を送られました。

両者の限界を超えようとしたその姿勢に感動と勇気、希望を多くの方々に与えました。人は誰でもが何らかの才能を持っています。その才能の芽を伸ばすのは努力を惜しまず、挑戦を積み重ねる力だと思います。

学校は「自分をつくる」ために学ぶところです。吉田っ子達も、いろんなことにチャレンジして、自分を知り、良さを伸ばしてほしいです。